

特集

地域の発展と子どもたちに夢と希望を届ける花火

花のまち鴻巣の夜空に咲く

『ドーン』。大きな音とともに秋の夜空に大輪の華が咲き、空を見上げる人々から大きな歓声があがる――

「このす花火大会」は、今年で20回目の節目を迎えることとなりました。打ち上げ発数3千発で始まった平成14年第1回大会から年々規模を拡大し、今年は2万発の花火が打ち上げられます。

本市の目玉イベントのひとつである「このす花火大会」が、市商工会青年部で構成される実行委員と多くのボランティアによって開催されていることはご存じですか。企画・運営から終了後の清掃まで、そのすべてを彼ら自身で行う、全国でも類をみない100%手作りの花火大会となっています。

今月の特集では、「このす花火大会」開催に尽力している実行委員長と花火師の花火大会にかける想いを紹介します。



平成29年10月8日第16回こうのす花火大会
「四尺玉打ち上げ成功の瞬間」

大輪の華

燃えよ! 商工会青年部!!

第20回 こうのす花火大会

日時/10月7日(土) 18時開会

場所/糠田運動場

問い合わせ/こうのす花火大会実行委員会

メール kounosu-hanabi@nifty.com



▲こうのす花火大会
公式HP





こちらのす花火大会実行委員長を務める柳健太郎さん。市商工会青年部に所属し、普段は建設業を営んでいます。

ちに夢と希望を届ける花火

市商工会青年部を中心に市民のボランティアで運営される『こちらのす花火大会』。その第20回目の実行委員長を務めるのが柳健太郎さんです。「実行委員長を務めるのは2度目なんです」と笑いながら話す柳さん。今回5年ぶりに四尺玉を打ち上げることが決まり、平成25年の四尺玉打ち上げ発起人であり、実行委員長長の経験もある柳さんに白羽の矢が立ったそうです。

「1月から準備を始めていますが、今年は人手不足や価格高騰でかなり苦労しています。実行委員は自身の仕事と両立しての準備で大変です。それでも、皆さんからの期待や励ましの言葉で頑張れています」と力強く語ります。花火大会の見どころについて伺うと、予想外の答えが返ってきました。「開催前の準備をしているボランティアの姿を見て欲しい。その姿を知れば、この花火大会の印象が大きく変わると思います。先日も鴻巣中学校の皆さんが観客席のブルーシート作りをしてくださいました。花火大会翌日のゴミ拾いも多くのボランティアがやっ

協力してくれる皆さんに感謝



多くのボランティアの手によって花火大会は開催されています（会場設営の様子）。

ているんです」。そこが他の花火大会とは違うと言います。「花火大会は、まちがひとつになるほどのイベントに成長しました。これも準備から片づけまで協力していただいているボランティアのおかげです。この感謝があるからこれまで続けてこられました。大会の影で尽力しているボランティアの姿が花火を見ている皆さんにも伝われば、こちらのす花火大会はもっと発展し、いつまでも続いていくと思います」。



▲会場設営の動画公開中

こちらのす花火大会のココがすごい！

◆ギネス世界記録に認定された四尺玉

平成26年第13回こちらのす花火大会で打ち上げられた四尺玉が「最大の打ち上げ花火」としてギネス世界記録に認定されました。その重さはなんと約464kg。

◆1分間の尺玉以上の花火打ち上げ数日本一

平成23年第10回こちらのす花火大会で約4分間に尺玉300発・三尺玉2発の計302発の花火が打ち上げられ、日本一に認定されました。



鴻巣駅東口ロータリーに設置されている「四尺玉煙火筒」は、実際に四尺玉打ち上げ時に使用されています。





花火師の神田隆広さん（本家 神田煙火工業(株)・東秩父村）。花火への情熱は人一倍。常に創意工夫をしています。



特集 地域の発展と子どもたち

平成14年第1回このす花火大会から花火を手掛ける神田隆広さんは、江戸時代から続く花火師の家系で、その6代目です。

このす花火大会には商工会のつながりで携わるようになり、「これまで共に成長してきたので、このす花火大会には特別な思いがあります」と思い返すように話します。「地域を盛り上げるために皆さんボランティアでやっていて、私もできることを精いっぱいやっています。みんなで作り上げていくって認識ですね」。共同作業だと神田さんは言い

ます。

花火大会の見どころについて伺いました。「このす花火大会は大きい花火が多いのが特徴です。『鳳凰乱舞（おとりらんぶ）』は全国の花火大会にも負けない大型プログラムになっていきます。それと、音楽コラボは個人的にも好きで、音に合せて花火を打ち上げるタイミングは腕の見せどころですね。四尺玉は川幅日本一の鴻巣ならではの珍しい花火で、他ではそうそう見る

笑顔があふれる花火大会に



花火玉の作業現場では、3人の職人がひとつひとつ丁寧に手作業で製作しています。

ことができない特殊な魅力があります。ぜひ、花火を目で見て味わってほしいです」。

最後に、このす花火大会の今後について伺いました。「花火という文化は、皆さんの理解と協力がないと継続できません。20年続いたというのには本当にありがたいことで、この先もずっと続いてほしいと思っています。笑顔創出をテーマに、時代が変わる中で続けていくためには何が必要か考え、常に花火を進化させていきます。これからも楽しみにしてもらいたいです」。



このす花火大会の最後を飾る「鳳凰乱舞」は迫力満点で圧倒されます。

花火大会豆知識 スターメインって何？

花火大会のフィナーレを飾ることも多い人気のプログラム「スターメイン」。作品名のように見えますが、スターメインは花火の名前ではありません。スターメインは、いわゆる「打ち上げ方法」のことで、「速射連発」の打ち上げ方を指す名称です。数十発から数百発の大規模な連発までもスターメインと呼ばれています。

このす花火大会のスターメイン「鳳凰乱舞」では、四尺玉・三尺玉を含む尺玉300発が打ち上げられます。

